

令和六年度 一般B(二月) 入学試験問題 《国語》

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

列車に乗って旅行をすると、ときどき ^a田舎の老人と隣合せになる。お年寄は口がきみしいらしくたえず何か食べている。こちらが本などを読んでいても、かまわず、みかんいかがです、うちのほうのはおいしいんですよ、とか言って話しかけてくる。それじゃ頂きましょうか、となつて、話が始まる。内心、やれやれとんでもない道づれができてしまったと思いつつ……。

田舎のおじいさん、おばあさんは、旅は道つれ世は情、^{なまけ}何時間もいっしょにいて黙っているという法はない。そう思って、^{※1}かりそめのつき合いを求めてくるのだろう。こちらはひとりでぼんやりしているのがいちばんありがたいのだが、声をかけられてしまえば、黙っているわけにはゆかない。

しかし、老人たちは話し始めると切り上げ方を知ら^アないから、どちらかが降りるまで、^①ただ音を出している会話がづくことになる。それがたまらないから、みんな沈黙は金なりを実行するようになるが、考えてみれば、隣合せに坐^{すわ}って、ひとことも口をきかないというのも、赤の他人が何時間もしゃべりつづけるのと同じように不自然である。

乗りものに乗って、隣の人とごく自然に、気持よくふたこと三こと口をきく方法というものはウないだろうか。急にあなたはどこへ行きますか、などと切りだされては ^bメイワクする。ましてや相手にわかるはずもない固有名詞などが飛びだしてきては、^②返事のしようもない。黙っているのは確かにまずい。口をきくのはいいが、何を話題にしたらよいのかについて、あらかじめごくゆるやかな合意もなくて話をするから、^c妙に疲れるのである。

同じ島国でもイギリスには、そのところの^③常識が何となくできているらしい。列車の^{※2}コンパートメントに乗り合わせた乗客は、まず^④お天気のことから話し始めるのが普通になっている。これを説明して、わが国の英語教師が、ことほどさようにイギリスの天候は変わりやすいのだ、と学を ^dシメしたものだ、もちろん、天候に関心をもっているイギリス人がないわけではないが、ゆきずりの人とお天候のことを話し合う人たちが、みんな氣象学的興味の持主であるわけではない。黙っているのは落ち着か^エないから、何か言わなくては、と思う。しかし、下手なことを言つてはまずい、いちばんさしきわりのない話題は何かと考えると、天候だ。へ X へ今日はまた何とひどいお天気でしょうね、といった挨拶から切りだすというわけだ。これは日本だつてそうであるが、そのあとすぐ^{※3}パーソナルな話題へ移ったりするからこまるのだ。こういうときには、相手に直接関係のあるような質問は用心ぶかく避けなくてはいけないのである。天候の話のタネがつきてしまったら、スポーツのことでもいい。それもタネ切れになったら、静かになればよろしい。

戦後、言葉はコミュニケーションの手段だということが ^eキョウチュウされたものだから、すべての言語活動には伝達したい内容がなくてはならないように考える向きがふえているが、何もとくに伝えたいことがあるのではなく、相手と人間関係を結び、それを保つのに話すことが必要だという場合が実に多いのである。われわれの言語生活は大部分^⑤そういうものだと言ふことができる。

黙っているはいけないから何かをしゃべる——これが大きな意味をもつのが人間の社会である。いわゆるコミュニケーションではない。そういう言葉に論理を求めることは^{※4}お門違いである。何かにつけて論理を気にする人が多いが、乗客の会話の論理性をうんぬんする人はあるまい。

※1 「かりそめ」いつとき、ちょっと何かすること、その場限り

※2 「コンパートメント」列車内の仕切りのある個室のこと

※3 「パーソナル」個人的

※4 「お門違い」目指す対象からはずれ間違つてねらいをつけること

(外山滋比古『日本語の個性 改版』による 一部改訂)

問一 傍線部 a～e のカタカナは漢字に改め、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問二 二重傍線部ア～エの「ない」のうち、単語の種類がほかと違うものを一つ選び、記号で答えなさい。

問三 本文中へ X ～ に入る語を次から選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ ところで ウ むしろ エ それで

問四 傍線部①「ただ音を出している会話」とはどのような会話か。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 相手にはつきりと聞こえるように意識してする会話
- イ 相手が答えにくい質問を互いに次から次へとする会話
- ウ 内容がないまま、なんとなくする会話
- エ おしゃべりな相手が一方的に話す会話

問五 傍線部②「返事のしようもない」理由は何か。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 乗り合わせただけなので、今後親しく付き合いたいと思わないから。
- イ 知らない事に対してどう答えてよいかわからないから。
- ウ 初めてあった人にパーソナルな話題を言いたくないから。
- エ 老人の終わりなく続く話に返事が追い付かないから。

問六 傍線部③について、ここでの「常識」と同じ意味で使われている部分をこれより前の文章から十字以内で抜き出しなさい。

問七 傍線部④「お天気のことから話し始めるのが普通」である理由を本文中の語句を使って三十字以内で答えなさい。

問八 傍線部⑤「そういうもの」が指す内容を本文中の語句を使って説明しなさい。